



2022年1月26日

各 位

会社名 株式会社 ジーニー  
代表者名 代表取締役社長 工藤 智昭  
(コード番号：6562 東証マザーズ)  
問合せ先 CFO兼経営企画室長 菊川 淳  
(TEL. 03-5909-8177)

## パーパスの設定並びにプロダクト名・ロゴ刷新に関するお知らせ

当社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤智昭、以下ジーニー）は、企業のあらゆるマーケティング活動をテクノロジーで支援し、日本とアジアに貢献するため、パーパス（存在意義／以下、Purpose）を新たに設定しました。

Purpose実現に向けて、お客様にサービスをより分かりやすく、使いやすく提供できるよう、新ブランド「GENIEE Marketing Cloud」「GENIEE Ads Platform」を立ち上げ、プロダクト名とロゴを刷新することを決定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### ■Business Purpose（ジーニーのプロダクトやサービスが実現する世界観）

誰もがマーケティングで成功できる世界を創る

#### ■Corporate Purpose（組織の長期目標・存在意義）

日本発の世界的なテクノロジー企業となり、日本とアジアに貢献する

今回、プロダクトと組織の長期目標・意思決定の軸として、2つのPurposeを定義しました。日本では数少ない、海外展開も行いながら成長を続けるテクノロジーカンパニーの一員であることに誇りを持ち、その知識や利益を社会に還元していきます。当社のプロダクトやサービスをご利用くださる企業様に、ひいては社会に貢献できる存在となっていけると信じ、私たちは今日も歩み続けます。

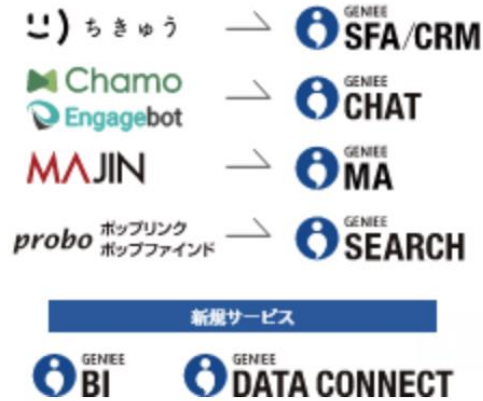
#### 新ブランド立ち上げの背景と目的

当社は、2010年の創業以来、広告プラットフォーム事業で市場シェアを獲得し、2016年以降はデジタルマーケティングツールの開発に着手し、提供ツールの拡充（サイト内検索エンジン、チャットツール、MA、SFA/CRM、BI）を進めてきました。今回、サービス体系を見直し、2つの新ブランドに各種プロダクトを統合することで当社サービスの提供を促進し、日本とアジア企業のマーケティング活動支援・企業の業績向上に貢献してまいります。

■ 新ブランド並びにロゴ、各プロダクト群

広告プラットフォーム事業  
GENIEE Ads Platform

マーケティングSaaS事業  
GENIEE Marketing Cloud



■ マーケティングSaaS事業に関連するブランド変更（プロダクト名称変更）

(旧名称)

(新ブランド)

マスター ブランド	---	GENIEE Marketing Cloud (新設)
サブブランド	ちきゅう	GENIEE SFA/CRM
	Chamo、Engage bot	GENIEE CHAT
	MAJIN	GENIEE MA
	probo、probo EC ポップリンク、ポップファインド	GENIEE SEARCH
	---	GENIEE BI (新プロダクト)
	---	GENIEE DATACONNECT (新プロダクト)

■ 広告プラットフォーム事業に関連するブランド変更

マスター ブランド	GENIEE Ads Platform (新設)
サブブランド	GENIEE SSP
	GENIEE DSP
	GENIEE DOOH
	GENIEE AFFILIATE
	GENIEE DMS

以上